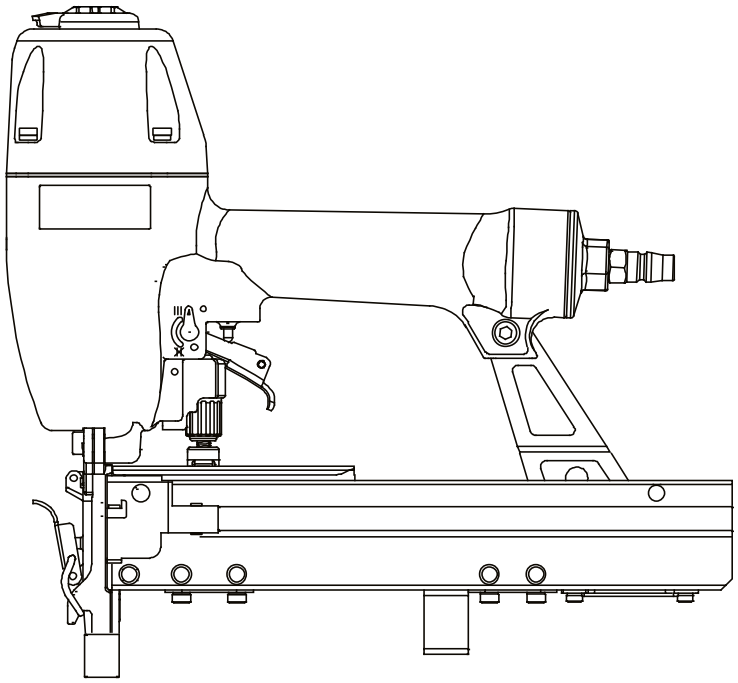
ステープルタッカー　P40/2340V 取扱説明書

本機のご使用前に、取扱説明書を最後まで良く読み、正しく安全にお使いいただきますよう
お願い致します。
（本機の仕様は機能向上などの為、予告なしに変更する場合があります。）



⚠【危険】

本機にはトリガをロックする機構がついています。
ステープルを打つとき以外は、トリガをロックした状態にしてください。
誤ってステープルが発射すると重大な事故につながる危険があります。

⚠【警告】

本機は木材へのステープル打ち作業を目的とした工具です。
他用途に使用しないでください。
コンクリート、鉄鋼などへステープルを打ち込まないでください。
射出口が詰まった状態でステープルを射出すると本機の損傷を招きます。
正常に作動しなくなった場合は自分で修理せず販売店に修理を依頼ください。
絶対に分解また改造をしないでください。

● この取扱説明書での⚠ 表示の意味は下記の通りです。

⚠【危険】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容のご注意。
⚠【警告】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠【注意】	操作に関する重要なご注意。状況によっては重大事故に至る可能性がある内容のご注意。

● 安全作業のための注意　⚠【危険】

1）保護具
作業者も周囲の人も必ず保護メガネを着用してください。打損じのステープルが跳ねて眼に入る危険があります。排気音や排気から耳を保護するため、耳栓などの防音保護具を着用してください。作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

2）エアコンプレッサ
本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使うと異常燃焼をおこし爆発事故の恐れがありますのでエアコンプレッサ以外は使用しないでください。本機の使用前後にはエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。本機の内部に水や油が溜まると錆発生などで故障原因となります。

3）エアホース接続前に
ステープルが装填されていない事を確認してください。ねじ類の緩みが無い事、損傷／脱落／異常動作の部品が無い事を確認してください。射出口が人や物に当たっていない事、人に向いていない事を確認してください。

4）エアホース接続後に
空気漏れ・異常音・作動音などが無い事を確認してください。エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がある場合、そのまま使用すると事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5）作業前に
周囲に作業者以外（特に子供など）がいない事を確認してください。作業場所が、明るく、作業に応じて整理されている事を確認してください。無理な姿勢また後退しながらの作業は大変危険です。高所作業の場合、足場の安全が確保されている事を確認してください。本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）のそばで使用するとステープル打込時の火花による引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があります。揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

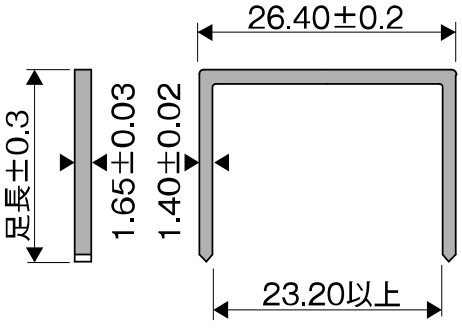
6）作業中に
トリガに指をかけたまま本機を持ち運びまた手渡しなどをしないでください。誤ってステープルが射出されると危険です。本機を移動させる時は必ずトリガから指を離し、場合によりエアホースも外してください。エアホースを掴んで本機を移動しないでください。

7）ステープルを打つときは
向い合わせでの作業は、打ち損じたステープルが向いの作業者に当り思わぬ事故を招きます。向い合わせでの作業は絶対にしないでください。対象物に配線やガス管など埋設物が無い事を確認してください。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。落としたりして連結が切れたステープルを使用すると、ステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生する可能性がありますので使用しないでください。

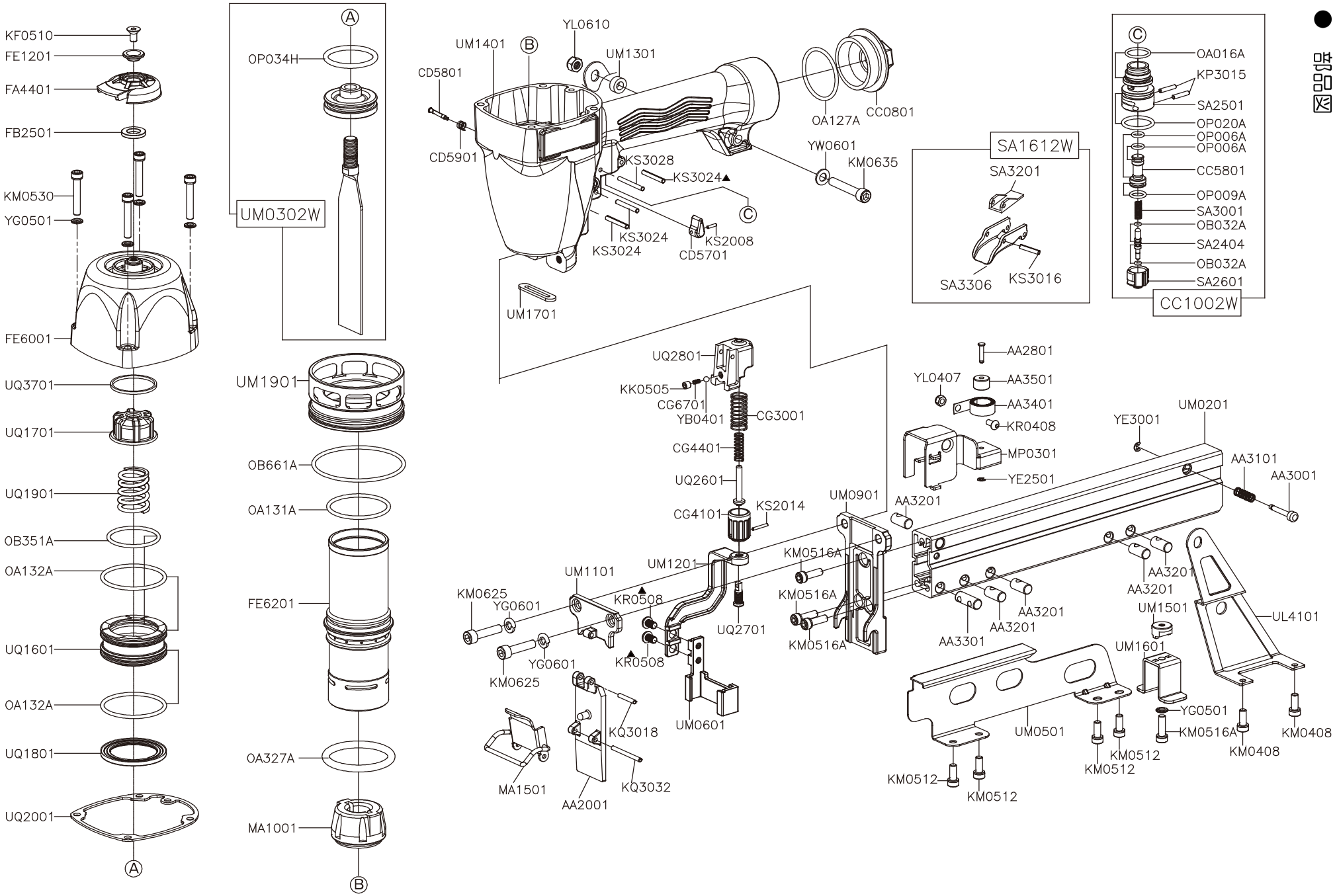
8）ステープル詰まりを直すときは、エアホースを外し、ステープルを全部抜き取ってから作業してください。

9）　作業終了時には、エアホースを外し、マガジン内のステープルを全て抜き取ってください。

● 仕様

<table>
<tr><td>型式</td><td colspan="2">P40/2340V</td></tr>
<tr><td>外径寸法・重量</td><td colspan="2">328x306(H)x80mm 2.5Kg</td></tr>
<tr><td>ステープル装填</td><td colspan="2">140本</td></tr>
<tr><td>エアー継手</td><td colspan="2">1/4″NPT</td></tr>
<tr><td>使用エアホース</td><td colspan="2">エアホースの内径はΦ6mm以上です。エアホース長さは30m以内のものを使用してください。エアホースが長いと圧力低下により打込み不十分となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">使用空気圧
⚠【警告】</td><td>最大許容圧力</td><td>0.8MPa (8.16Kgf/cm^2)</td></tr>
<tr><td>推奨使用圧力</td><td>0.5MPa ～ 0.75MPa (5.10～7.65Kgf/cm2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">空気圧は対象物により、上記範囲内で調節し使用してください。範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがあります。</td></tr>
<tr><td>使用オイル
（タービン油）
⚠【注意】</td><td colspan="2">給油の前にエアホースを外してください。１日に２回以上または作業前後にエアプラグの口から２～３滴給油してください。作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。給油直後にエアを通すと、しばらくの間、油が排気口より噴霧状に飛び散るので油が飛んでも支障のない所で２～３本ステープルを打ってから作業してください。作業後に給油した場合、ステープルを１本打つと油が内部に行き渡ります。排気口から出た油は拭き取ってください。過剰の給油は本機に悪影響を及ぼす場合があります。指定外のオイルを使用すると、能力低下や故障の原因となります。界面活性剤などの添加物を入れないでください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">騒音レベル
⚠【注意】</td><td>特性音圧レベル LpA</td><td>86.85dB(A)</td></tr>
<tr><td>音響パワーレベル LwA</td><td>98.85dB(A)</td></tr>
<tr><td>計測の不確実性</td><td>3dB</td></tr>
<tr><td colspan="2">法令や自治体条例の騒音規制値を超えないよう、遮音壁を設けるなど状況に応じた使用をお願いします。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">振動
⚠【注意】</td><td>手腕振動値</td><td>2.31m/s^2</td></tr>
<tr><td>計測の不確実性</td><td>1.5m/s^2</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用状況により上記と異なる場合があります。実使用での測定に従い安全確保の上、使用してください。</td></tr>
<tr><td>指定ステープル
⚠【警告】</td><td colspan="2">
<table>
<tr><th>使用ステープル</th><th>足長L(mm)</th></tr>
<tr><td>V-2315</td><td>15</td></tr>
<tr><td>V-2317</td><td>17</td></tr>
<tr><td>V-2319</td><td>19</td></tr>
<tr><td>V-2325</td><td>25</td></tr>
<tr><td>V-2332</td><td>32</td></tr>
<tr><td>V-2338</td><td>38</td></tr>
<tr><td>V-2340</td><td>40</td></tr>
</table>


指定ステープル以外を使用すると故障や事故の原因となります。必ず指定ステープルを使用して下さい。
</td></tr>
</table>


KF0510
FE1201
FA4401
FB2501
KM0530
YG0501
FE6001
UQ3701
UQ1701
UQ1901
OB351A
OA132A
UQ1601
OA132A
UQ1801
UQ2001
OP034H
UM0302W
UM1901
OB661A
OA131A
FE6201
OA327A
MA1001
YL0610
UM1401
UM1301
CD5801
CD5901
OA127A
CC0801
YW0601
KM0635
KS3028
KS3024▲
KS3024
KS3024
KS2008
CD5701
UM1701
SA1612W
SA3201
SA3306
KS3016
OA016A
KP3015
SA2501
OP020A
OP006A
OP006A
CC5801
OP009A
SA3001
OB032A
SA2404
OB032A
SA2601
CC1002W
UQ2801
KK0505
CG6701
YB0401
CG3001
CG4401
UQ2601
CG4101
KS2014
UM1201
UQ2701
UM1101
KR0508▲
KR0508▲
KM0625
YG0601
YG0601
KM0625
UM0601
KQ3018
KQ3032
MA1501
AA2001
UM0901
KM0516A
KM0516A
KM0516A
AA2801
YL0407
AA3501
AA3401
KR0408
MP0301
YE2501
AA3201
YE3001
UM0201
AA3101
AA3001
AA3201
AA3201
AA3201
AA3201
AA3301
UM1501
UM1601
UL4101
YG0501
KM0516A
KM0408
KM0408
UM0501
KM0512
KM0512
KM0512
KM0512

● 部品表

部品番号	部品名称	仕様	数
AA2001	アジャスタブルプレート(B)		1
AA2801	ピン		1
AA3001	ストップピン		1
AA3101	コンプレッションスプリング(1)		1
AA3201	ナットローラー(1)		5
AA3301	ナットローラー(2)		1
AA3401	プッシャースプリング		1
AA3501	ローラー		1
CC0801	エンドキャップ		1
CC1002W	トリガーバルブアッセンブリ		1
CC5801	パイロットバルブ		1
CD5701	レボルブボタン		1
CD5801	ローラーピン		1
CD5901	コンプレッションスプリング(2)		1
CG3001	コンプレッションスプリング(3)		1
CG4101	アジャスター		1
CG4401	コンプレッションスプリング(4)		1
CG6701	コンプレッションスプリング(5)		1
FA4401	エグゾーストキャップ		1
FB2501	ピストンストップ(1)		1
FE1201	エグゾーストキャップリング		1
FE6001	シリンダーキャップ		1
FE6201	シリンダー		1
KF0510	平頭ボルト	M5×0.8－10L	1
KK0505	六角穴付セットスクリュー	M5×0.8－5L	1
KM0408	六角穴付ボルト(1)	M4×0.7－8L	2
KM0512	六角穴付ボルト(2)	M5×0.8－12L	4
KM0516A	六角穴付ボルト(3)	M5×0.8－16L	4
KM0530	六角穴付ボルト(4)	M5×0.8－30L	4
KM0625	六角穴付ボルト(5)	M6×1.0－25L	2
KM0635	六角穴付ボルト(6)	M6×1.0－35L	1
KP3015	パラレルピン	Φ3×15L	2
KQ3018	スプリングピン(1)	Φ3×18L	1
KQ3032	スプリングピン(2)	Φ3×32L	1
KR0408	ボタンヘッドボルト(1)	M4×0.7－8L	1
KR0508	ボタンヘッドボルト(2)	M5×0.8－08L	2
KS2008	スプリングピン(3)	Φ2-8L	1
KS2014	スプリングピン(4)	Φ2-14L	1
KS3016	スプリングピン(5)	Φ3-16L	1
KS3024	スプリングピン(6)	Φ3-24L	3
KS3028	スプリングピン(7)	Φ3-28L	1
MA1001	バンパー		1
MA1501	サポートセット		1
MP0301	プッシャー		1
OA016A	Oリング(1)	ARP568-016	1
OA127A	Oリング(2)	ARP568-127	1
OA131A	Oリング(3)	ARP568-131	1
OA132A	Oリング(4)	ARP568-132	2

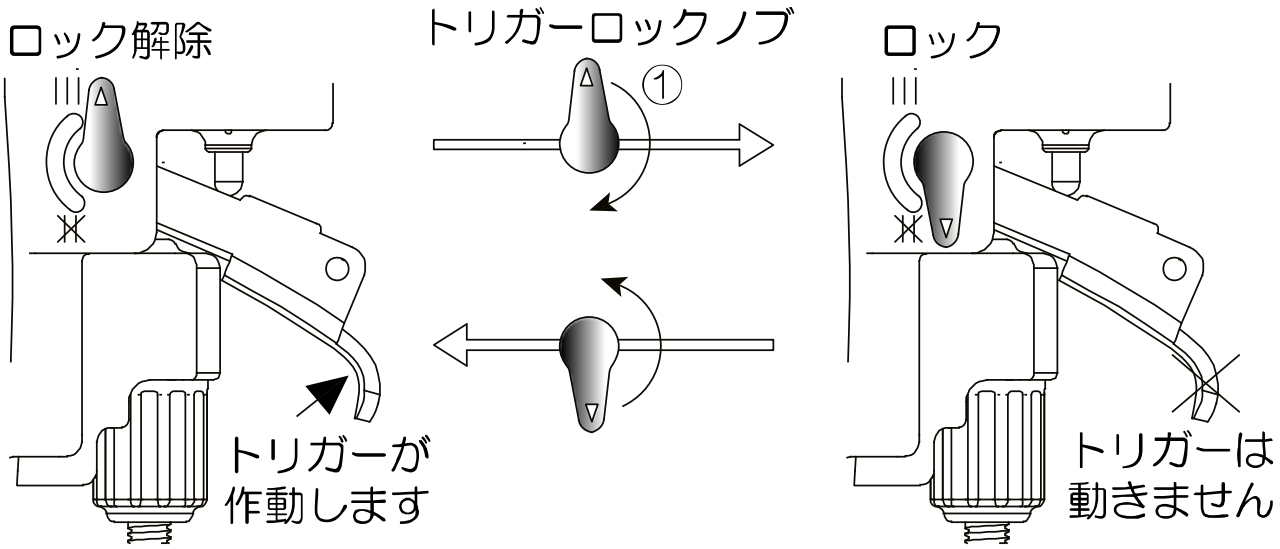
部品番号	部品名称	仕様	数
OA327A	Oリング(5)	ARP568-327	1
OB032A	Oリング(6)	2.5×1.4	2
OB351A	Oリング(7)	35×2.5	1
OB661A	Oリング(8)	66.03x2.4	1
OP006A	Oリング(9)	P6	2
OP009A	Oリング(10)	P9	1
OP020A	Oリング(11)	P20	1
OP034H	Oリング(12)	33.7×3.5	1
SA1612W	トリガーアッセンブリ		1
SA2404	トリガーバルブステム		1
SA2501	トリガーバルブシート(1)		1
SA2601	トリガーバルブシート(2)		1
SA3001	コンプレッションスプリング(6)		1
SA3201	コンタクトレバー		1
SA3306	トリガー		1
UL4101	サポート		1
UM0201	マガジンシート		1
UM0302W	ピストンドライバーOリングセット		1
UM0501	カバーマガジン		1
UM0601	ワークコンタクティングエレメント(A)		1
UM0901	ガイドプレート		1
UM1101	アジャスタブルプレート(A)		1
UM1201	ワークコンタクティングエレメント(B)		1
UM1301	フラットワッシャー(1)		1
UM1401	ボディ		1
UM1501	フィックスドランプ		1
UM1601	ゲージ		1
UM1701	ノズル		1
UM1901	カラー		1
UQ1601	ヘッドバルブピストン		1
UQ1701	ピストンストップ(2)		1
UQ1801	ヘッドバルブシール		1
UQ1901	コンプレッションスプリング(7)		1
UQ2001	キャップシール		1
UQ2601	アッパーセーフティ		1
UQ2701	アッパーアジャストピン		1
UQ2801	セーフティセット		1
UQ3701	スペーサー		1
YB0401	スチールボール	Φ4	1
YE2501	Eリング(1)	Φ2.5	1
YE3001	Eリング(2)	Φ3.0	1
YG0501	スプリングワッシャー(1)	Φ5	5
YG0601	スプリングワッシャー(2)	Φ6	2
YL0407	ロックナット(1)	M4×0.7	1
YL0610	ロックナット(2)	M6×1.0	1
YW0601	フラットワッシャー(2)	Φ6	1

● 使用方法

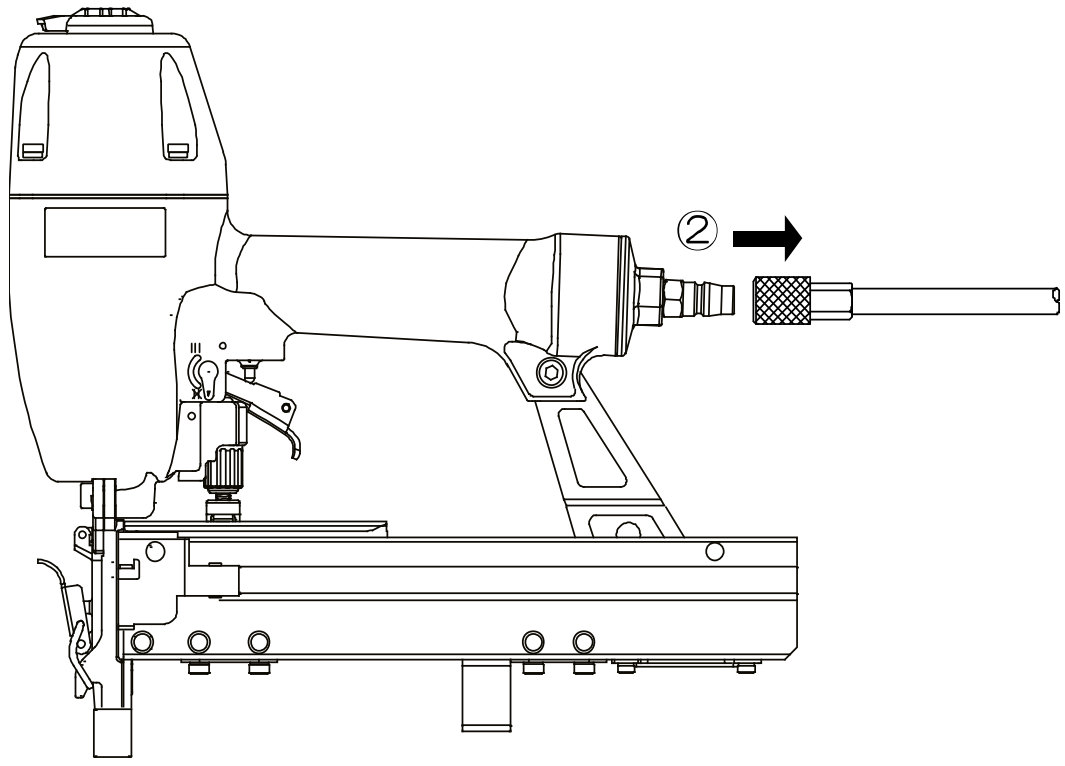
<u>本機とエアコンプレッサを接続する前に、使い方を覚えてください。</u>

1） ステープルを装填する

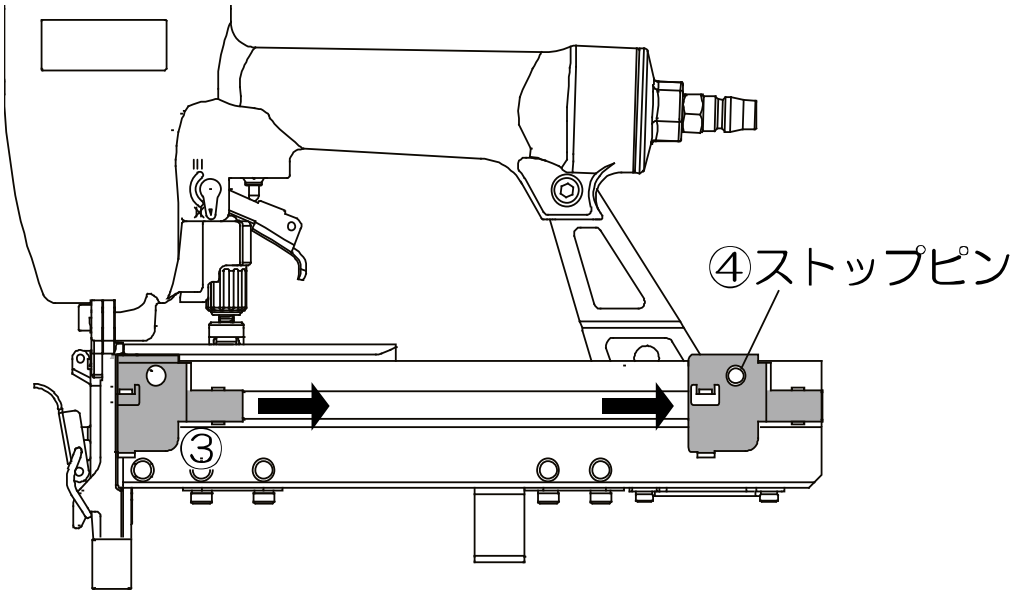
①思わぬ事故を防ぐ為、ステープル装填前には必ずトリガーロックノブを下図方向に回して、トリガーをロックして下さい。



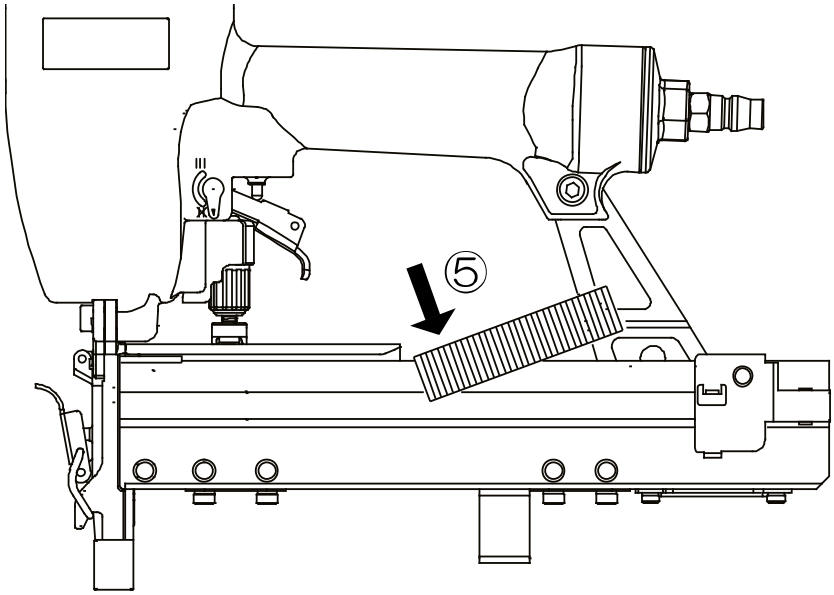
②思わぬ事故を防ぐ為、ステープル装填前には必ずエアホースを外して下さい。



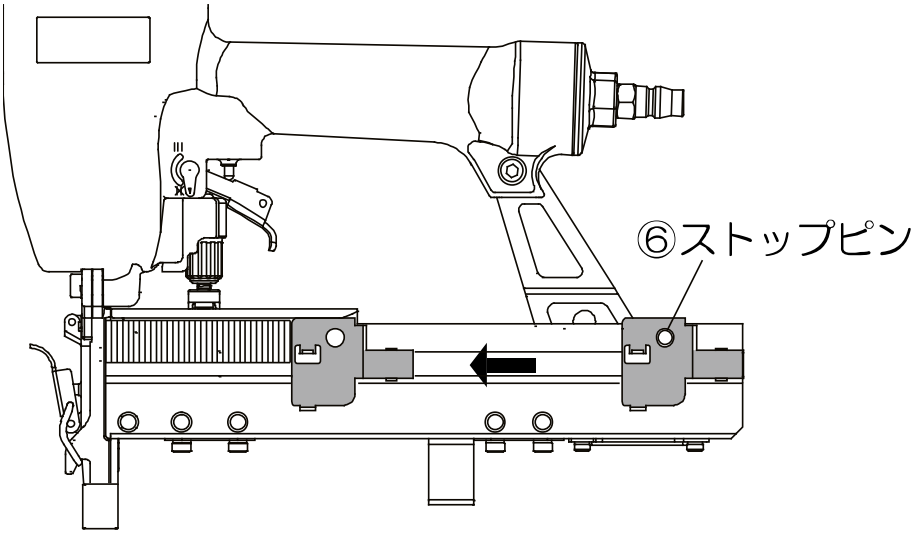
③プッシャーを持ち④ストップピンがロックするまでスライドさせてください。



⑤ステープルをマガジン
シートの上に装填します。

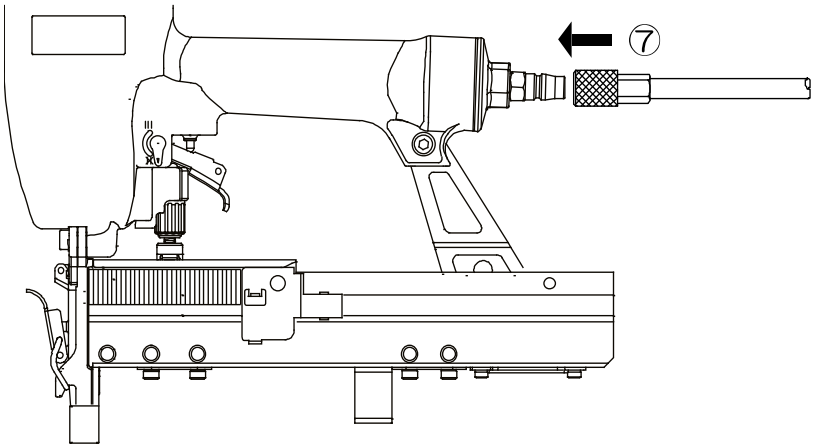


⑥ストップピンを押すとロックが外れ、プッシャーが戻ります。（ストップピンを押しロックが外れると、バネによりプッシャーが自動で戻ります。戻る力が強いので、必ずプッシャーを保持し、指を挟むなどの事故を防いで下さい。



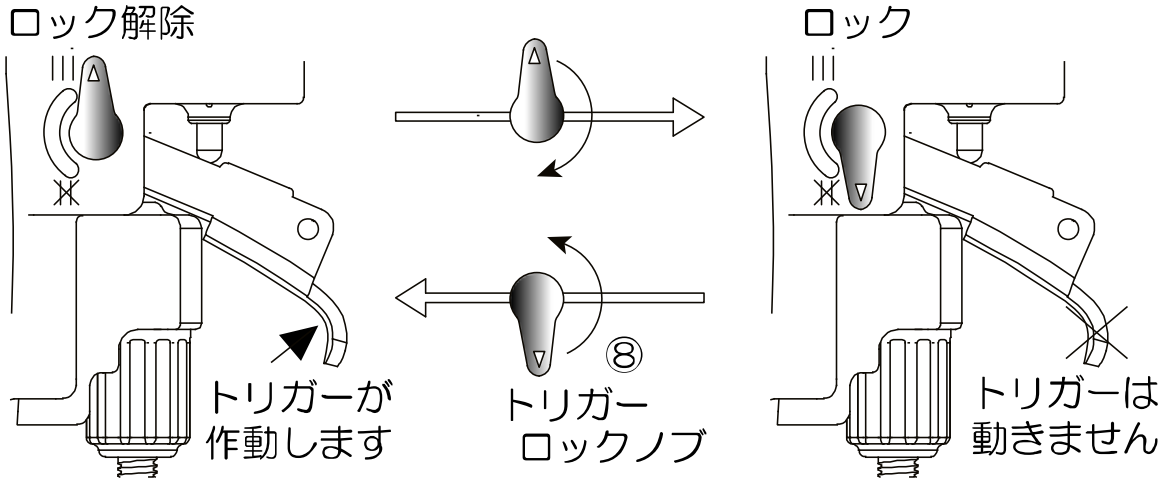
2)　エアホースを接続する。

⑦エアホース接続時は、
しっかりと本機を保持して
下さい。

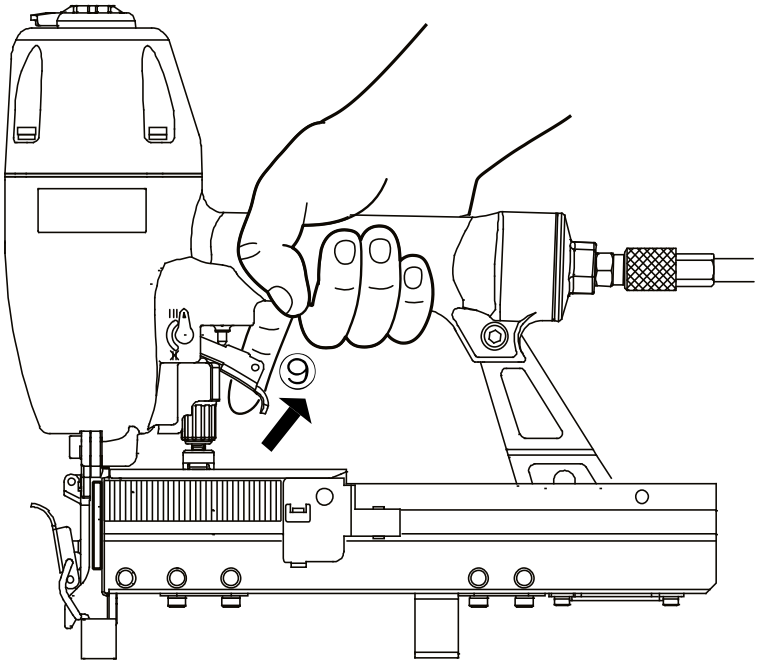


3)　安全装置を確認する。

⑧トリガーロックノブを下図方向に回して、トリガーロックを解除して下さい。



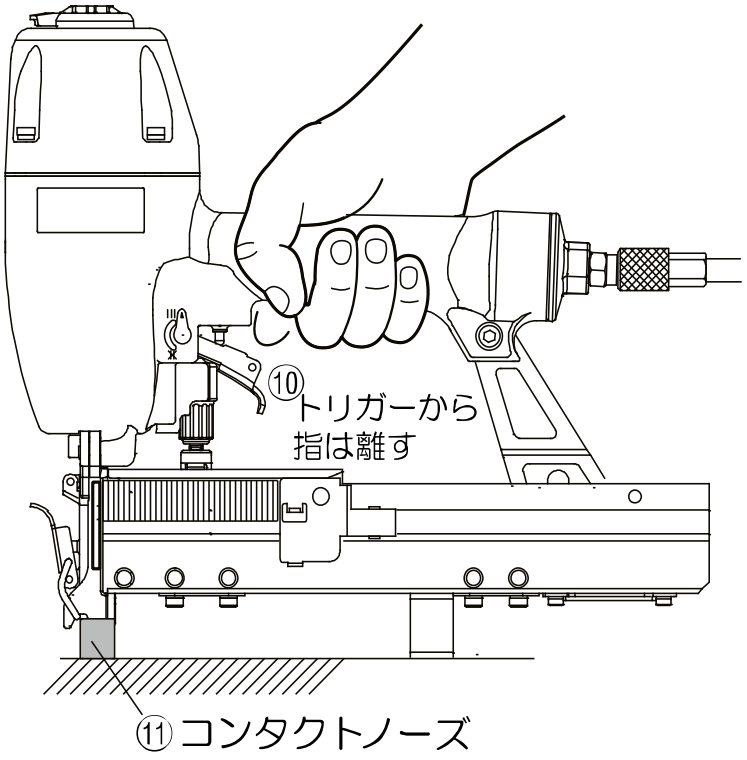
⑨コンタクトノーズを材料に当てないで、トリガーを引いてみて下さい。このとき本機が作動（ステープルの射出）する場合は、安全装置が異常です。



【危険】

誤作動によりステープルが発射し思わぬ事故を招く恐れがあります。射出口が人や危険物に向いていない事などに十分注意して確認してください。

⑩トリガーから指を離し、⑪コンタクトノーズを対象物（材料）に押し当ててみて下さい。このとき本機が作動（ステープルの射出）する場合は、安全装置が異常です。

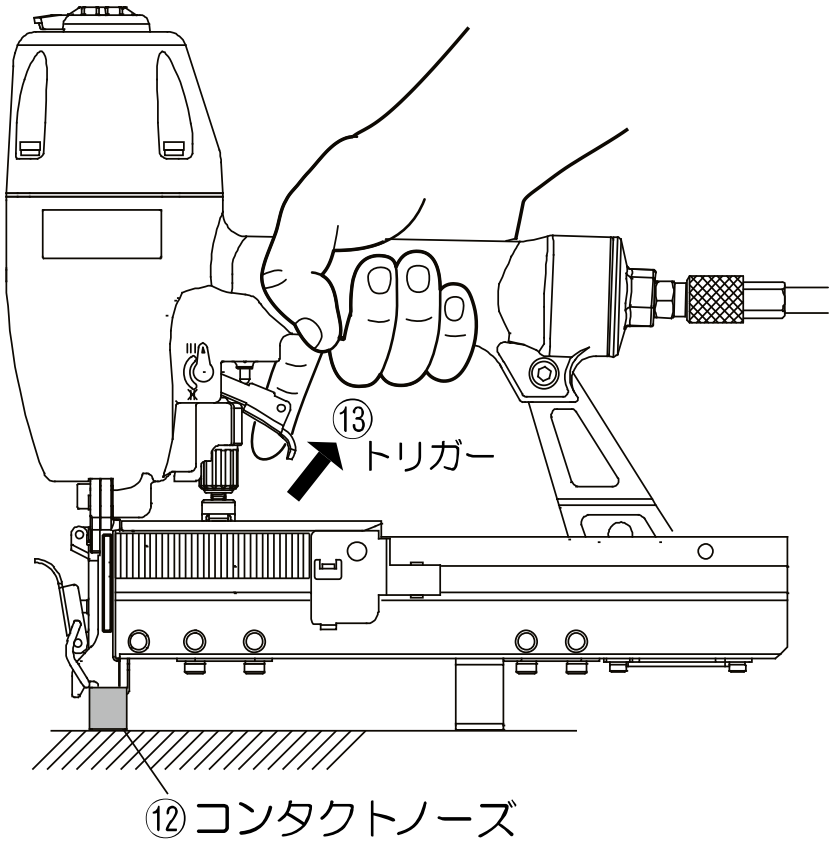


【危険】

誤作動によりステープルが発射し思わぬ事故を招く恐れがあります。射出口が人や危険物に向いていない事などに十分注意して確認してください。

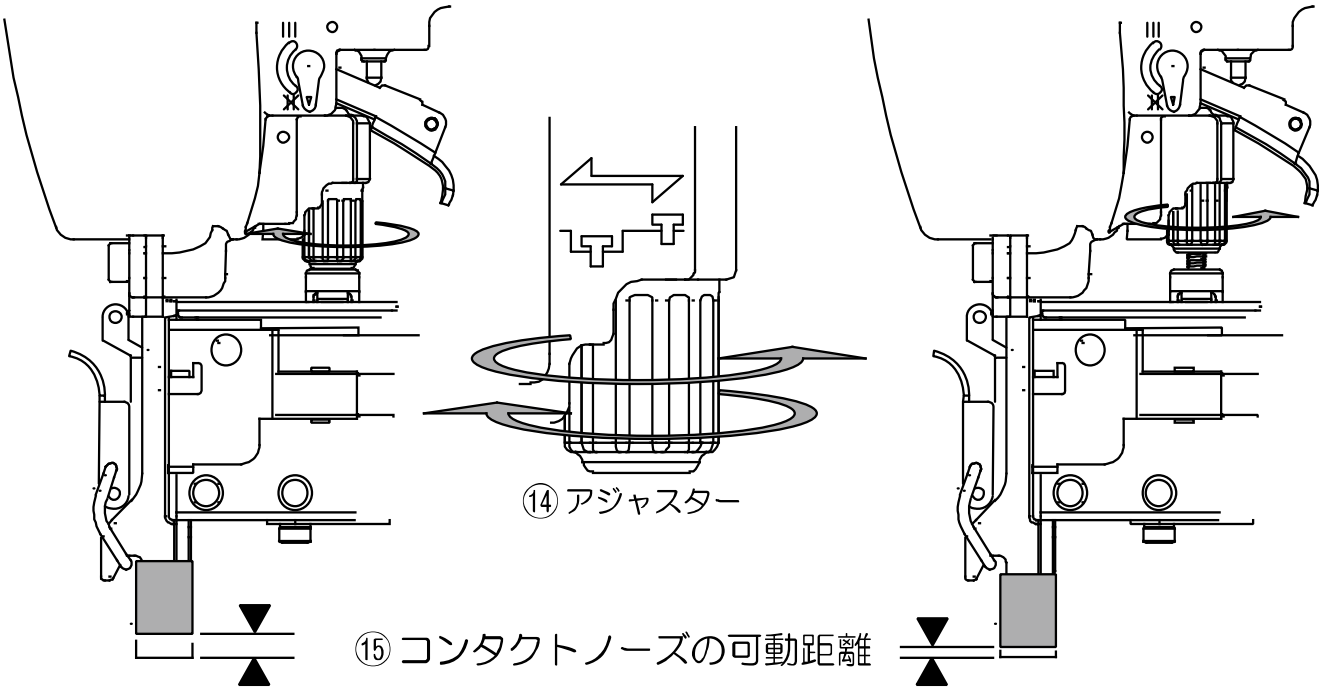
4） ステープルを発射させる。

⑫コンタクトノーズを対象物（材料）に当てて、⑬トリガーを引いて下さい。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。

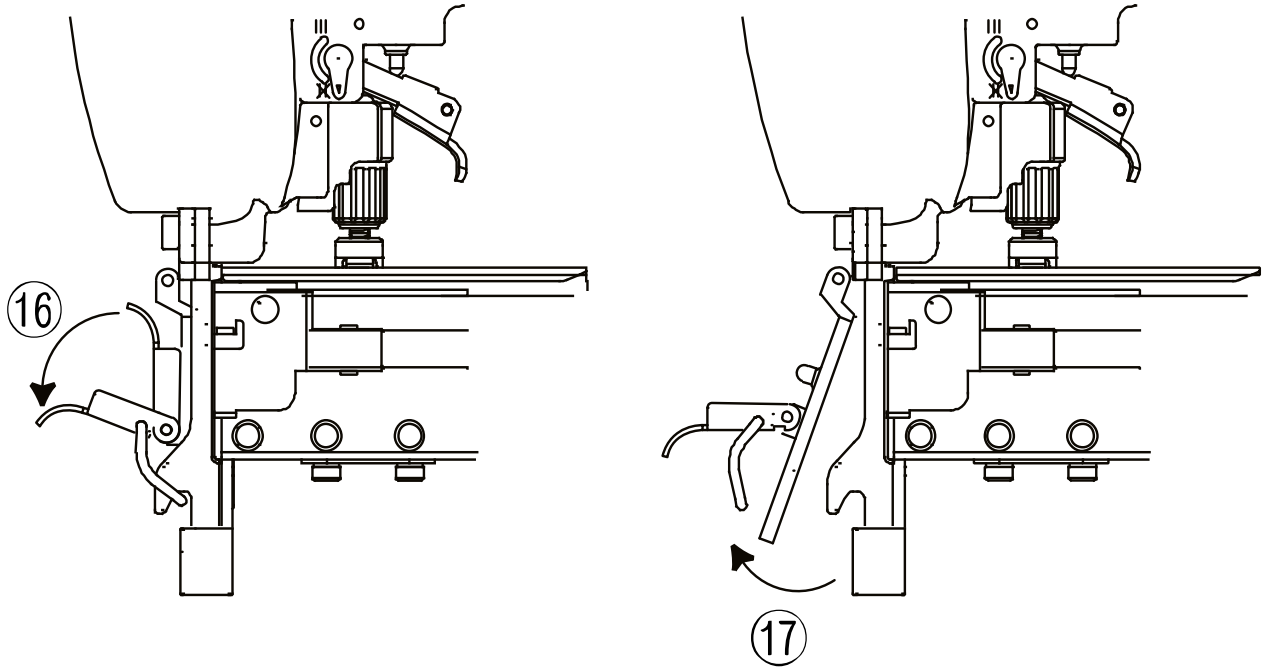


5)　コンタクトノーズの可動距離の調整

⑭アジャスターを回して、⑮コンタクトノーズの可動距離を調整する事が出来ます。



6)　ステープルが詰まったら、下図⑯⑰の順に射出口ガイドを開き、詰まったステープルを外して下さい。



● 保守

取り付けねじなど、嵌合が緩んでいる箇所が無いか定期的に点検し、緩んでいる場合は締め直して下さい。マガジンをときどき掃除し、ステープル接着剤のカス、異物、木くずなどを取り除いて下さい。１日に２回以上または作業前後にエアプラグのロから２～３滴給油してください。長期間使用しない時は、注油、清掃し、湿気や埃の影響を受けない状態で保管してください。お子様や、作業者以外の人がさわらないよう、場合により施錠などの処置をしてください。

株式会社立川ピン製作所 拠点

本社 三重工場	〒518-1151　三重県伊賀市白樫3279-1 TEL 0595-20-1124（代）　FAX 0595-20-1752
大阪営業所	〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋8-16 TEL 06-6942-1241（代）　FAX 06-6947-1737
東京営業所	〒130-0012　東京都墨田区太平4-6-17 TEL 03-5608-2100（代）　FAX 03-5608-2101
名古屋営業所	〒460-0022　愛知県名古屋市中区金山３丁目11番16号 松本ビル１階 TEL 052-684-4175　FAX 052-684-4176
福岡営業所	〒812-0014　福岡県福岡市博多区比恵町10-15-101 TEL 092-433-2101（代）　FAX 092-433-2102
ホームページ	https://tachikawa-net.jp

Ver.4-202601